

津波の被害が予想される 横浜市立岡野中学校における防災マニュアル

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	大津波警報	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡 引き渡し	防災拠点機能		
授業中	校長・副校長	地震発生	〈緊急放送で安全確保の指示〉 〈テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報入手〉	統轄本部設置 校長は、校長室(職員室)で指揮 〈緊急放送で全校避難を指示〉 副校長は、すぐに校庭へ	〈人数と安否確認〉 児童生徒→担任→学年主任→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②二次避難の準備・計画 ③負傷者の確認と手当 ④児童生徒の不安緩和 ⑤病院等の医療機関との連携	大津波の襲来予想	〈警報を受け、校舎最上階への避難指示〉 〈津波情報の確認と最新情報入手〉 ※本校校舎3階(2つの川に挟まれているため)	〈人数と安否確認〉 児童生徒→担任→学年主任→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④病院等の医療機関との連携 ※一般市民が避難してくる場合あり	〈学校教育事務所へ連絡〉 〈第1次報告に変更がある場合〉 〈区災害対策本部へ連絡〉 ※防災無線、FAXの活用	〈統轄本部で情報収集〉 ①学校周辺の被害状況 ②公共交通機関の運行状況 ③携帯電話への接続状況 ④保護者への連絡方法確認	〈区役所との連携〉 〈防災拠点運営の支援〉		
	教職員		〈的確な指示〉 ①「頭部をまもれ」 ②「机の下にもぐれ」 ③「机の脚をもて」 ④「安心するような声かけ」	〈校庭へ避難誘導〉 ①名簿・引き渡しカード・ホイッスル等の携帯 ②配慮を要する子どもへの対応 ③トイレ、特別教室等に児童生徒が残っていないか確認	〈1次避難状況を学校教育事務所へ報告〉(1次報告:FAX) 〈施設被害状況の把握〉 〈危険箇所の立入禁止措置〉		救出・救急医療班 活動開始 消火・安全点検班 活動開始	〈校舎最上階への避難誘導〉 〈的確な情報を与え、落ち着くように指示〉	救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続	〈役割分担に従って行動〉 ①学校、地域の被害状況把握(通学路等も...) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応 ④危険箇所の確認と立入禁止の表示 ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心) → PCルームへ	保護者へ連絡 ①緊急メール配信システム ②学校ホームページ ③電信による連絡	地域防災拠点マニュアルに沿って支援開始	
	児童生徒		〈揺れがおさまるのを待つ〉 机の下にもぐり、落下物から身を守る		〈負傷者がいる場合は助け合う〉 ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ			救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続	〈落ち着いた移動〉 防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 教員の指示に従い、急いで3階へ移動	〈負傷者がいる場合は助け合う〉 ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ	〈避難場所で静かに待つ〉 〈指示に従って、帰宅準備を行う〉	〈下校〉 ①震度5強以上の場合は、全員留め置き ②震度5弱の場合、状況確認 →下校の場合は地域ごとに教員引率のもと下校(希望者は留め置き)	待避場所の確保 食糧の確保 保護者への連絡継続
登下校中	校長・副校長	地震発生	災害対策本部設置	統轄本部設置 校長は、校長室(職員室)で指揮	〈安否確認〉 〈1次避難状況を学校教育事務所へ報告〉(1次報告:FAX)	大津波の襲来予想	〈警報を受け、校舎最上階へ又は近くの丘陵地への避難指示〉 〈津波情報の確認と最新情報入手〉	〈人数と安否確認〉 児童生徒→担任→副校長→校長 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④病院等の医療機関との連携	〈学校教育事務所へ連絡〉 〈第1次報告に変更がある場合〉 〈区災害対策本部へ連絡〉 ※防災無線、FAXの活用	〈統轄本部で情報収集〉 ①学校周辺の被害状況 ②公共交通機関等の運行状況 ③携帯電話への接続状況 ④保護者への連絡方法の確認	〈区役所との連携〉 〈学校教育事務所との連携〉 〈防災拠点運営の支援〉		
	教職員		〈児童生徒の所在確認〉 ①校内を確認 ②通学路(公園等)を確認 ③避難場所を確認	〈情報収集〉 ①学校に登校児童生徒の確認 ②帰宅した児童生徒の安否確認 ③校内施設被害状況の把握 ④危険箇所の立ち入り禁止措置			救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続	〈校舎最上階又は近くの丘陵地への避難誘導〉 〈的確な情報を与え、落ち着くように指示〉	救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続	〈役割分担に従って行動〉 ①学校、地域の被害状況把握(通学路等も...) ②ライフライン、公共交通機関の状況 ③負傷者への対応 ④危険箇所の確認と立入禁止の表示 ⑤不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心)	保護者へ連絡 ①緊急メール配信システム ②学校ホームページ ③電信による連絡	地域防災拠点マニュアルに沿って支援開始	
	児童生徒		〈揺れがおさまるのを待つ〉 ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護	〈安全な場所へ避難〉 学校 → 校庭等、安全な場所に避難 揺れがおさまる → 近い方に避難(保護者が不在の場合は学校へ) 自宅 → 帰宅した場合は、学校へ連絡 波のことを考え、高台への避難を指導する				救出・救急医療班 活動継続 消火・安全点検班 活動継続	〈学校〉 ①落ち着いて行動する ②防災頭巾等で頭部を保護しながら上履きのまま移動 〈自宅〉(保護者とともに) ①出来るだけ高い場所へ避難 ②落ち着いたら市指定の避難場所へ	〈負傷者がいる場合は助け合う〉 勝手な行動をとらない 私語をつつしむ	〈避難場所で静かに待つ〉 〈指示に従って、帰宅準備を行う〉	〈下校〉 ①学校の残留者・戻ってきた生徒への対応 ②公共交通機関がストップした場合は、学校に留め置き ③集団下校の場合は、地域ごとに集団下校	待避場所の確保 食糧の確保 保護者への連絡継続 不安を抱えた児童生徒への対応
校外学習等	校長・副校長	地震発生	〈安全確保を最優先〉 ①地形や滞在場所の状況を判断し、安全確保を指示 ②公共交通機関を使用している場合は乗務員の指示に従う	〈揺れがおさまるのを待ち、安全な場所への移動を指示〉	〈学校へ連絡し状況を報告、指示を受ける〉 〈地元の公共機関等へ連絡し救援要請を行う〉	大津波の襲来予想	〈地元公共機関等の指示を受け、近隣ビルの最上階または近くの丘陵地への避難誘導〉 〈津波情報の確認と最新情報入手〉 〈学校へ詳細を連絡し指示を受ける〉	〈人数と安否確認〉 ①周囲の被害状況の把握 ②負傷者の確認と手当 ③児童生徒の不安緩和 ④地元病院等の医療機関との連携	〈学校における今後の対応策の検討〉 ①現地からの報告を受け、学校教育事務所に報告 ②保護者へ連絡 ・現状の説明(安否についても) ・帰宅方法等について ③現地から帰校させる交通手段等の手配 ④地元公共機関への応援要請 ⑤現地への教職員派遣				
	教職員		〈揺れがおさまるのを待ち、安全な場所へ退避させる〉	〈児童生徒を安全な場所へ移動させる〉 〈公共交通機関を使用している場合は、乗務員の避難指示に従う〉	①区役所 ②近隣の小中学校 ③警察 等								
	児童生徒		〈揺れがおさまるのを待つ〉 ①高層ビル等からの落下部に注意 ②ブロック塀、自販機から離れ、頭部を保護 ③事前の指導	〈安全な場所へ避難〉 ①教員や公共交通機関の乗務員の避難指示に従う ②教師とはぐれた時は動かさず、その場で待つ ③事前確認した避難場所へ	〈負傷者がいる場合は助け合う〉 ①勝手な行動をとらない ②私語をつつしむ				〈教員や地元の方々の指示に従う〉 ①落ち着いて行動する ②勝手な行動をとらない ③教師とはぐれた時は、動かさず、その場で待つ				